

資料7 今後の進め方について

令和5年10月 第1回王子共創会議資料

1 共創体制について

王子共創会議とエリアプラットフォームの違い、役割分担

設立の背景

■ 王子駅周辺まちづくりガイドラインにおいて、**王子共創会議**と**エリアプラットフォーム**による「共創体制」でまちづくりを推進することとした

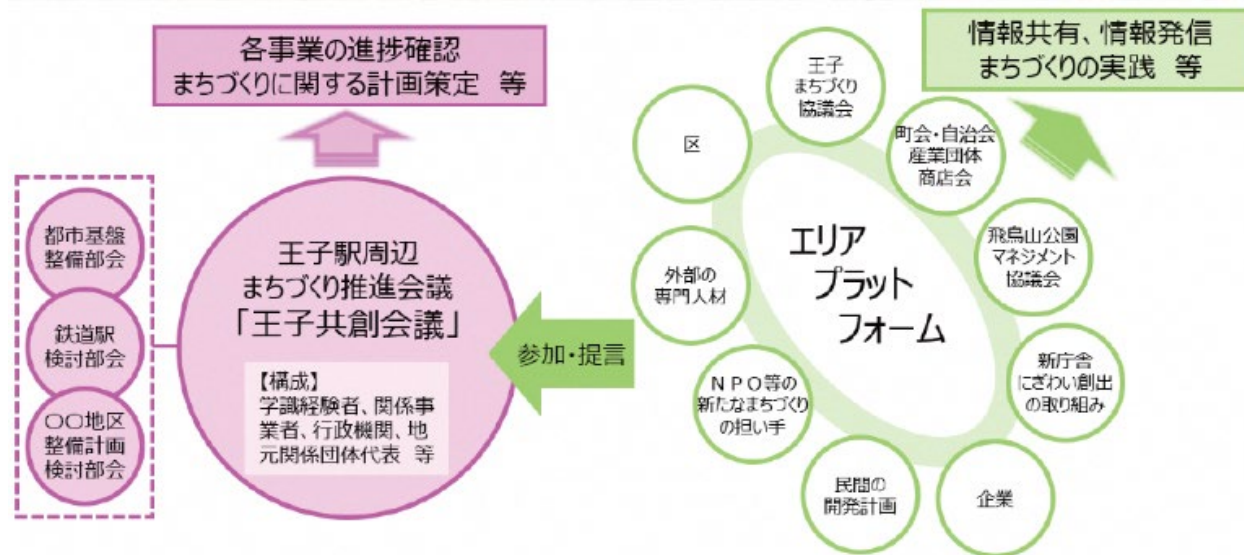
■ 王子共創会議

各事業の進捗を確認しながら、ガイドラインの改定やまちづくりに関する計画の策定等について協議し、まちづくりの実現に向けて合意形成を図る

■ エリアプラットフォーム

ゆるやかに連携し情報共有しながら、まちづくりの機運を醸成し、情報発信、まちづくりの実践等を行い、エリアマネジメントの実現へとつなげる

▼ガイドライン策定後の推進体制のイメージ



～エリアプラットフォームとは～

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民、地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場がエリアプラットフォームです

「エリアプラットフォーム」とは、おおむね以下の要件が揃った協議の場です



エリアに関わる様々な仲間と集まり協議をする



まちづくりに関する実績を有する専門人材からの支援を受けている



エリア価値の向上・将来像の実現が目的



緩やかな協議の場（プラットフォーム）

地域の課題解決や魅力（価値）向上を目的として、
様々なまちづくりの活動で連携していきます

エリアプラットフォームで連携する活動内容（想定）

- 王子駅周辺のエリアビジョンの検討（ウォーカブル・ガーデンのイメージ深化等）
- 道路、公園、河川等の利活用、放置自転車対策等に関する社会実験等の取り組み
- ポータルサイト、SNS、アプリ、3D都市データ等による情報共有、情報発信



エリアビジョンの検討
(出典：ササハタハツウェブサイト)



道路空間活用の社会実験（丸の内仲通り）



情報共有、情報発信ツール



河川や公共施設の利活用（音無親水公園）



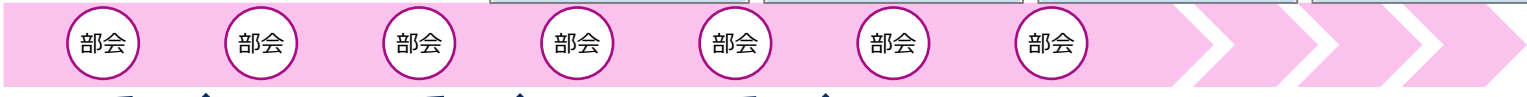
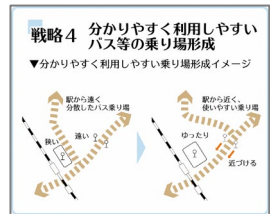
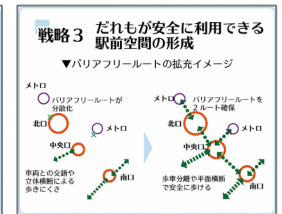
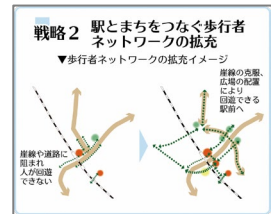
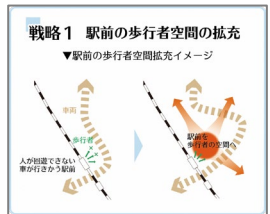
3D都市データの活用

3 共創会議・部会、エリアプラットフォームによる検討の進め方（案）

都市基盤整備部会

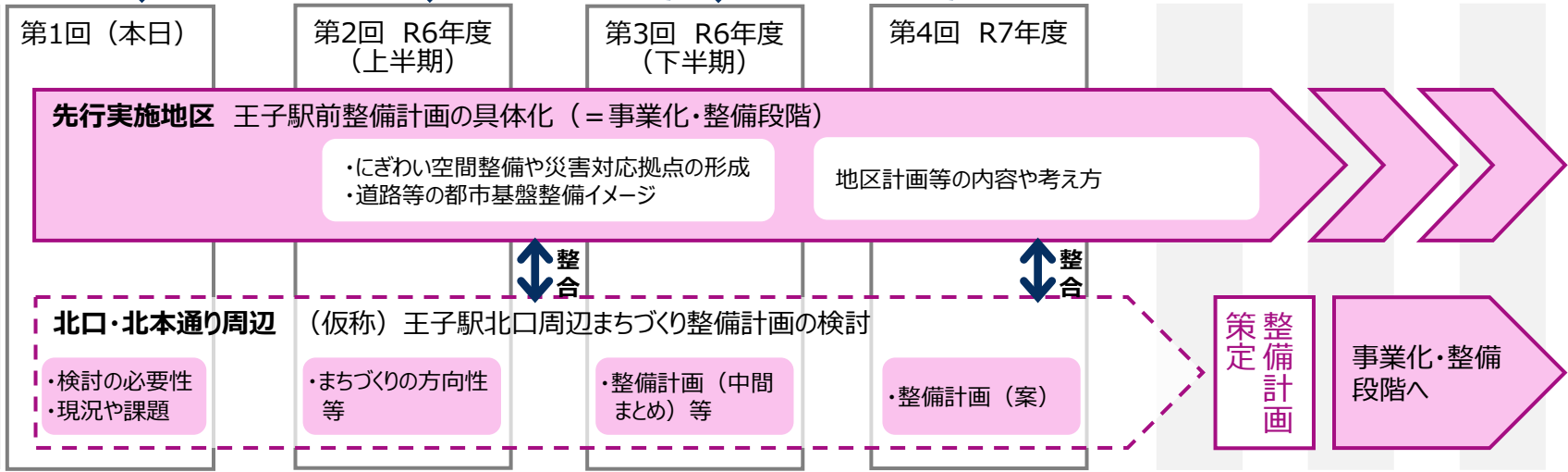
ガイドラインに掲げるミッション「駅前を歩行者に開放」を達成するための4つの戦略を進める

・王子駅周辺の都市基盤に関して、関係機関（東京都、交通管理者、公共施設管理者、交通事業者等）による協議を行う。



王子共創会議

- 協議・検討事項
- ・まちづくりの方針に関すること
 - ・具体的な都市機能や空間形成に関すること
 - ・都市計画に関すること
 - ・公共空間の使い方等相关すること



協議・検討の状況を共有

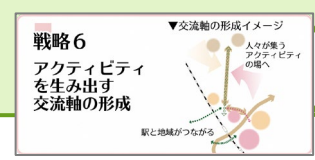
会議への参加 施策等の提言

エリアプラットフォーム

- ・官民一体となって、まちの課題や情報を共有し、エリアビジョンの策定及びそれを実現する活動を通じて、まちの価値や魅力を創出する。
- エリアプラットフォーム準備会（あり方の検討）

- ・情報共有・情報発信
- ・エリアビジョンの策定
- ・公共空間の利活用やまちの課題解決に向けた社会実験等
- ・エリアマネジメントのあり方や組織の検討

ガイドライン・整備計画を補完し、ソフト面からアプローチ



その他の戦略

※具体的に時期については現時点での想定です

4 計画の位置づけ・性格 (案)

- ハードの課題解決を図る「(仮称)王子駅北口周辺まちづくり整備計画」と、ソフトの充実を図る「エリアビジョン」を検討します。

策定主体

- 区
- エリアプラットフォーム

構想

王子駅周辺
まちづくりランドデザイン

王子駅周辺
まちづくりガイドライン

(仮称) エリアビジョン

ソフト

ハード

実行

(仮称) 王子駅北口周辺
まちづくり整備計画

王子駅前
まちづくり整備計画

